

トンボとヤゴ

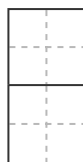
トンボとヤゴ

トンボの子どもは、ヤゴとよべれます。ヤゴは、池や川などの水の中でくらしています。体は茶色っぽく、羽はまだありません。

ヤゴは、水の中の小さな虫やおたまじやくしなどを食べます。ヤゴの口の下には、のびちぢみする長い「うで」のようなものがあり、えものが近づくと、すばやくのばしてつかまえるのです。

大きくなったヤゴは、水から草のくきなどにのびります。そして、からをぬいで、羽のあるトンボになります。トンボは、チョウのようにさなぎにはなりません。

1 トンボの子どもを、何とよびますか。



2 ヤゴは、どこでくらしていますか。



の中

3 ヤゴは、えものをどうやってつかまえますか。

ア ロの下、のびちぢみするものをのばして。

イ あみをはって。

ウ とびついて。

4 大きくなったヤゴは、どうなりますか。

ア 水のそこにもぐる。

イ からをぬいで、トンボになる。

ウ 魚になる。